

## 臨床薬学2

責任者・コーディネーター	地域医療薬学分野 高橋 寛 教授 地域医療薬学分野 松浦 誠 特任教授		
担当講座・学科(分野)	地域医療薬学分野、臨床薬剤学分野、情報薬科学分野		
対象学年	4	区分・時間数	講義 15 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

社会の中で、薬剤師の地域の保健・医療・福祉への参画が求められている。特に、セルフメディケーションの支援や在宅医療への参画や介護・地域保健活動への参画については、薬剤師への期待は大きく、多職種と連携を取りながらその役割を果たすことが求められる。臨床薬学2では、薬局の地域活動に必要な基本的知識を学修し、地域医療における薬剤師の役割について理解する。また、実務実習の事前学習科目であり、実務実習を行う際の基礎知識となる。

### ・教育成果（アウトカム）

地域医療における薬局薬剤師の役割、在宅医療に必要な介護保険制度や薬学的管理、一般用医薬品の役割など地域の保健、医療、介護に関係する基本的な知識を学ぶことにより、地域住民の健康維持の支援や地域包括ケアや在宅医療における他職種連携に貢献できるようになる。（ディプロマポリシー：1, 2, 4, 6, 8, 9）

### ・到達目標（SBO）

1. 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる（52）。
2. 多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる（53）。
3. チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる（54）。
4. 地域における薬局の機能と業務について説明できる（106）。
5. 医薬分業の意義と動向を説明できる（107）。
6. かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる（108）。
7. セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる（109）。
8. 地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を概説できる（739）。
9. 一般用医薬品のリスクの程度に応じた分類（第一類、第二類、第三類）について説明し、各分類に含まれる代表的な製剤を列挙できる（740）。
10. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる（741）。
11. 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等（743）
12. 主な養生法（運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む）とその健康の保持・促進における意義を説明できる（744）。

13. 一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる (745)。
14. 代表的な症候 (頭痛・腹痛・発熱等) を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択ができる (1050)。
15. 代表的な症候に対する薬局製剤 (漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱いと説明できる。(1051)。
16. 代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスができる (1052)。
17. 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する (1049)。
18. 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる (111)。
19. 地域包括ケアの理念について説明できる (112)。
20. 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる (113)。
21. 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる (1039)。
22. 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる (1040)。
23. 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる (1041)。
24. 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる (115)。
25. 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制 (地域包括ケア) およびその意義について説明できる (1035)。
26. 学校薬剤師の役割について説明できる (114)。
27. 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動 (薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等) について説明できる (1045)。
28. 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる (1046)。
29. 災害時の薬局の役割について説明できる (110)。
30. 災害時医療について概説できる (1058)。
31. 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する (1036)。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
5/25	月	2	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「地域医療と薬剤師 (1)」            保険薬局における薬剤師の役割について説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における薬局の機能と業務について説明できる。</li> <li>2. 医薬分業の意義と動向を説明できる。</li> <li>3. かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義について説明できる。</li> <li>4. セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。</li> <li>5. 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。</li> </ol> <p>【双方向授業】 【ICT(moodle)】            事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle 上の事前課題について調べること。            事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle 上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。</p>

5/26	火	1	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「地域医療と薬剤師（2）」 在宅（訪問）医療・介護への薬剤師が参画する意義や役割について説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域包括ケアの理念について説明できる。</li> <li>2. 在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。</li> <li>3. 在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。</li> <li>4. 在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。</li> <li>5. 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。</li> <li>6. 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制（地域包括ケア）およびその意義について説明できる。</li> <li>7. 地域の保健、医療、福祉において利用可能な社会資源について概説できる。</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】 事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。 事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。</p>
6/2	火	3	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「地域医療と薬剤師（3）」 プライマリケア、セルフメディケーションの意義を理解し、知識や情報を活用して適切な医薬品の選択ができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性について説明できる。</li> <li>2. 代表的な症候（頭痛・腹痛・発熱等）を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択とその理由について説明できる。</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】 事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。 事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。</p>

6/9	火	2	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「地域医療と薬剤師（４）」 プライマリケア、セルフメディケーションの意義を理解し、知識や情報を活用して適切な医薬品の選択ができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表的な症候に対する薬局製剤（漢方製剤含む）、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱いと説明できる。</li> <li>2. 代表的な生活習慣改善に対するアドバイス事項について説明できる。</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】 事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。 事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。</p>
6/11	木	3	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「地域医療と薬剤師（５）」 地域の保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）活動への参画の意義を説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動（薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等）について説明できる。</li> <li>2. 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。</li> <li>3. 学校薬剤師業務について説明できる。</li> </ol> <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。 事後学習：講義で用いた配布資料や演習問題を確認し振り返りを行う。必要に応じて授業内容をまとめる。</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】 事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。 事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。</p>
6/16	火	3	地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 地域医療薬学分野 情報薬科学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 工藤 賢三 教授 松浦 誠 特任教授 佐京 智子 助教 平山 智宏 非常勤講師 熊谷 明知 非常勤講師 牟岐 和房 非常勤講師	<p>SGD これからの医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する。</li> </ol> <p>【グループワーク】</p>

					<p>事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。</p> <p>事後学習：グループワークで話し合ったことをまとめること。</p>
6/18	木	1	<p>地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 臨床薬剤学分野</p>	<p>高橋 寛 教授 工藤 賢三 教授 松浦 誠 特任教授 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 助教</p>	<p>発表、まとめ</p> <p>これからの医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を説明できるようになる。</p> <p>【プレゼンテーション】</p> <p>事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。</p> <p>事後学習：発表会で出た内容をまとめること。</p>
6/23	火	3	<p>地域医療薬学分野</p>	<p>高橋 寛 教授</p>	<p>「地域医療と薬剤師（6）」</p> <p>災害時医療と薬剤師の役割について説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時医療について概説できる。</li> <li>2. 災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。</li> <li>3. 災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について説明できる。</li> </ol> <p>事前学習：予定されている授業内容を確認し、予め教科書や参考書等で予習しておく。</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。</p> <p>事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。</p>
6/30	火	3	<p>地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 臨床薬剤学分野 情報薬科学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野 地域医療薬学分野</p>	<p>高橋 寛 教授 工藤 賢三 教授 松浦 誠 特任教授 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 助教 佐京 智子 助教 平山 智宏 非常勤講師 熊谷 明知 非常勤講師 牟岐 和房 非常勤講師</p>	<p>SGD</p> <p>地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性について説明できるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。</li> </ol> <p>【グループワーク】</p> <p>事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。</p> <p>事後学習：グループワークで話し合ったことをまとめること。</p>

7/2	木	3	地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 地域医療薬学分野 臨床薬剤学分野 臨床薬剤学分野	高橋 寛 教授 工藤 賢三 教授 松浦 誠 特任教授 朝賀 純一 准教授 高橋 宏彰 助教	発表、まとめ 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性について説明できるようになる。 【プレゼンテーション】 事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle上の事前課題について調べること。 事後学習：発表会で出た内容をまとめること。
-----	---	---	---	---	---

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	臨床薬学テキストシリーズ 薬学と社会	乾 賢一 監修	中山書店	2017
教	薬学と社会 2020	薬学教育センター 編	評言社	2020
参	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ. 臨床薬学の基礎 および処方箋に基づく調剤	日本薬学会 他 編	東京化学同人	2017
参	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ. 薬物療法の実践	日本薬学会 他 編	東京化学同人	2018
参	スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ. チーム医療および地域の保健・医療・福祉への参画	日本薬学会 他 編	東京化学同人	2018
参	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 薬剤師業務の基本 [知識・態度] 第3版	上村直樹, 平井みどり 監修	羊土社	2017
参	新ビジュアル薬剤師実務シリーズ 薬剤師業務の基本 [技能] 第3版	上村直樹, 平井みどり 監修	羊土社	2017

・成績評価方法

定期テスト（80％）と小テスト（20％）で評価を行う。
-----------------------------

・特記事項・その他

事前学習・事後学習のポイント

事前学習：教科書の授業範囲に該当するページを読み、Moodle 上の事前課題について調べること。毎回 30 分程度要します。

事後学習：授業で配布した資料を確認し、moodle 上の演習問題を解き、授業内容をまとめること。授業内容の要点・課題について理解できるようにすること。毎回 30 分程度要します。

講義は教科書と配布資料を用いて実施する。授業開始時に前回講義内容に関する小テストを実施する。小テストは授業出欠確認を兼ねて実施する。小テストの回答用紙には自由記載欄があり、教員への質問や要望を伝えることができるようになっており、適宜フィードバックする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン (Microsoft Surface Laptop Model 1769)	1	講義資料の映写、プレゼンテーション
講義	パソコン (Panasonic Let's note CF-SV)	1	講義資料の映写、プレゼンテーション